



ラッシャー 法律事務所

米国ワシントン州シアトル市

事業のアメリカ進出の第一歩は、文化や言語の壁に阻まれる事なく、安心と信用のリーガル・アドバイスを得る事から始まります。弁護士・楠瀬太郎(くすのせたろう)は米国西海岸、ワシントン州シアトル市に所在する伝統ある弁護士事務所、ラッシャー・ホルザフェル・スペリー・イバーソン P.L.L.C.にパートナーとして所属する、経験豊かな日英バイリンガル弁護士です。

楠瀬弁護士は東京生まれ。父の勤務のため初等教育から一環してアメリカで教育受けるとともに、文部省管轄の日本語補習校に学び、夏休みを利用して日本でも小・中・高校に通うなど、完全なバイリンガルとして育ちました。現在父親は日本で官庁に籍をおいて若手研究員の指導にあたっていることでも分かるように、楠瀬弁護士は今なお日本との強い絆を保っています。

楠瀬弁護士は、カリフォルニア大学サンディエゴ校を卒業の後、カリフォルニア大学デービス校ロースクールに進学。1999年卒業後にワシントン州弁護士ライセンスを取得しました。その実力は地元法曹界でも高く評価され、法律専門誌の『Washington Law & Politics』が毎年選ぶ、ワシントン州の若手弁護士トップ 3%だけに与えられるライジング・スター賞を2005年から6年連続で受賞しています。

米国法は日本と違い、コモン・ロー(慣習法)を基盤にしています。また、連邦法・州法・その他のローカル法が重なり合うマルチ層構造であるため、内容が複雑化し、理解するのに難解である事でも知られています。そのために、アメリカの弁護士は専門エリアを限定して従事する傾向が強いと言えます。当法律事務所には常時、それぞれ異なる専門知識を持つ約 30 人の弁護士が所属しており、訴訟、ビジネス、商法、不動産、税金、雇用法、商標、債務者・債権者権利ケース、企業のリタイアメントプランの構築、建築法、非営利団体設立など、多角的なリーガルサービスを提供しています。また、家族法、老後プラン、遺言状作成や相続問題など、パーソナル・ニーズにも対応可能です。

当法律事務所が提供するリーガルサービスについては、専門エリアに関係なく、楠瀬弁護士または常勤している日本人スタッフにより日本語サポートが受けられます。

楠瀬弁護士の専門分野:

- ビジネス・企業顧問:

(例)

- ビジネスの合併・売却(M&A)に関する条件の交渉、書類の作成、会社の資産の査定。
- 組織構築、会社設立または登記、維持に関するリーガルアドバイスの提供。
- 契約内容の交渉および、契約書、企業運営ポリシーなどの作成。
- 雇用法に関するアドバイスの提供。
- その他、企業間における様々な問題の解決。



- 不動産法:
(例)
 - 投資物件の売買に関する条件交渉、書類作成。
 - 商業物件のリースに関する条件交渉。
 - 不動産登記やファイナンスに関する条件交渉。
 - 不動産所有権に関する同意書の作成。
 - 住宅地区管理規則(CC&R)とホームオーナーアソシエーション(HOA)内での同意書の作成。
 - その他、不動産法に関する様々な問題の解決。

- 商標(トレードマーク):
(例)
 - 米国特許商標庁(USPTO)への商標の申請代行。
 - 世界知的所有権機関(WIPO)への商標の申請代行。
 - 商標申請、所有権の売買などに関する必要書類の作成。
 - 類似商標に関する問題、商標登録の可能性の有無についての分析リサーチ。
 - その他、知的所有権・商法に関する様々な問題の解決、訴訟、米国商標審査部(TTAB)での審査手続き代行。

楠瀬弁護士は、日英両語のビジネス業界で精力的に活動しています。日系ビジネスコミュニティーでは、シアトル日本商工会(春秋会)、ワシントン州日米協会、シアトル日系ビジネス・オーナー会に参加しています。また、雇用労働法に関するコラムを『仕事探し.com』に2004年から:

<http://www.shigotosagashi.com/columnsnew.aspx?ColumnCode=LAW&ColumnID=ALL>、

ビジネス法に関するコラムを『JUNGLE CITY.com』へ2005年より:<http://www.junglecity.com/pro/businesslaw/1.htm> 定期的に寄稿しております。なお、『JUNGLE CITY.com』では、『ぶらぼうな人』の2003年:

<http://www.junglecity.com/bravo/2003/1103.htm> にてインタビュー記事が掲載されました。

楠瀬弁護士はワシントン州の様々な日系ビジネス業界と深い親交関係を保っており、日系企業が必要とするであろうサービス(例:会計士、移民法弁護士、金融、不動産ブローカー、保険業界)との連携も常に行っております。また、日本人社会での様々な出来事に関して、敏感かつきめ細かい対応を信条としております。個人、または企業の情報に関しての守秘義務は絶対事項として死守する覚悟でおり、細心の注意払う事を常に心がけています。

楠瀬弁護士担当のリーガルアシスタントとして、シューメイク加津子(かずこ)が常駐しております。大阪で生まれ育ち、女子大学英文科を卒業後、日本企業で重役秘書として米国会社との取引を担当しました。カリフォルニア州立大学ノースリッジ校への留学をきっかけに渡米後は、米国バイオテクノロジー会社に勤務し日本への貿易にも関与しました。米国不動産法律専門事務所でのリーガルアシスタントとしての経験も積み、ラッシュャー法律事務所以前はマイクロソフト本社にて、日本戦略グループのプログラムコーディネーターを勤めた経験もあります。直通電話番号は(206)654-2414です。

上記業務内容に関してご質問等ございましたら、何なりと下記までおよせください。

弁護士 楠瀬太郎(くすのせ たろう)

Lasher Holzapfel Sperry & Ebberson, PLLC
ラッシュャー・ホルザフェル・スペリー・イバーソン 法律事務所
2600 Two Union Square
601 Union Street
Seattle, Washington 98101-4000 USA

kusunose@lasher.com メール (日本語可)

(206) 654-2430 米国直通

(206) 624-1230 事務所フロント

(206) 340-2563 ファックス

(206) 654-2414 アシスタント:シューメイク加津子(かずこ)直通

